

# 伊勢・三河湾貧酸素情報 (R1-17号)

令和元年9月12日

愛知県水産試験場 漁場環境研究部

令和元年9月9、10日に伊勢湾、9月11日に三河湾において貧酸素水塊の調査を実施しました。その結果は下記のとおりです。

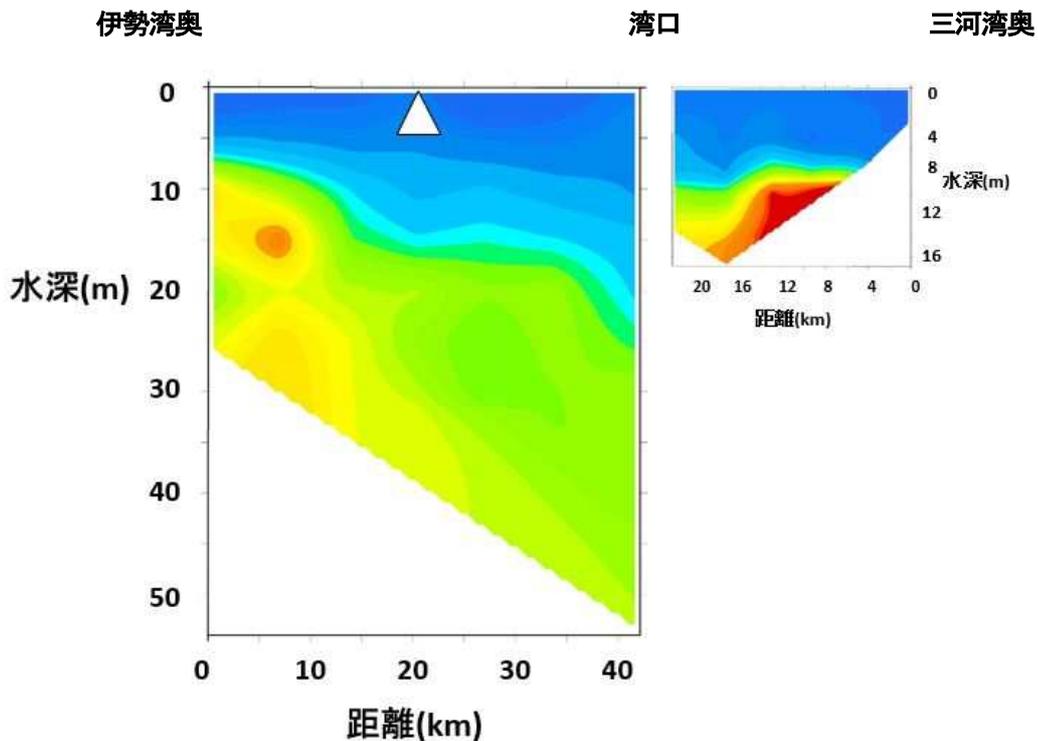
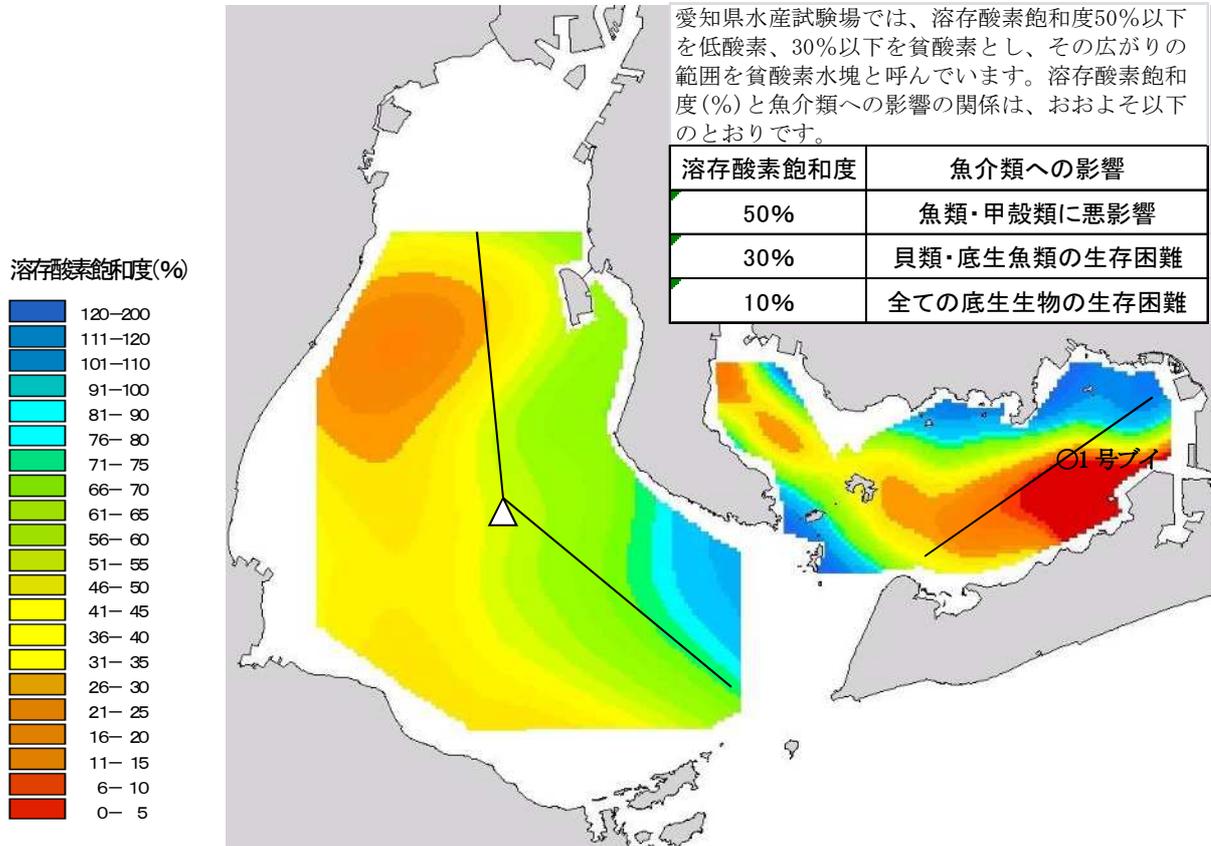


図1 伊勢湾(9月9、10日)・三河湾(9月11日)底層の溶存酸素飽和度の分布(上図)及び上図直線部分の鉛直分布(下図)(愛知県「海幸丸」、「へいわ」調査)

### 伊勢湾

9月9、10日の調査結果を図1に示しました。湾西部で貧酸素水塊が確認されました。また、鉛直分布図をみると、湾奥では前回調査（9月4日）と同様に、中層に貧酸素水塊が分布している様子が観測されました。

気象庁が発表した週間予報では、最高気温、最低気温ともに平年より高く、かなり高い日もあると予測されています。このため、今後は海水の上下混合が起こりにくく、貧酸素化が進行すると考えられます。

表1 調査時の水温・塩分

	水温(°C)	塩分
表層	27.4~28.9	17.3~27.7
底層	20.8~25.0	32.6~34.1

### 三河湾

9月11日の調査結果を図1に示しました。渥美湾は南東部で、知多湾では奥部と中央部で貧酸素水塊が確認されました。

三河湾海況自動観測ブイ1号ブイ（蒲郡沖）のデータをみると、9月4日に底層で確認された貧酸素水塊の厚みは、9日以降、薄くなっている状況が確認されました。これは、4日から7日にかけて風速5.2~9.9 m/sの南から東の風が断続的に吹き、貧酸素水塊が南東部に寄ったことが影響したと考えられます。（図2）。

気象庁が発表した週間予報では、最高気温、最低気温ともに平年より高く、かなり高い日もあると予測されています。このため、今後は海水の上下混合が起こりにくく、貧酸素化が進行すると考えられます。

表2 調査時の水温・塩分

	水温(°C)	塩分
表層	28.0~31.2	23.9~30.0
底層	23.0~28.2	29.7~32.8

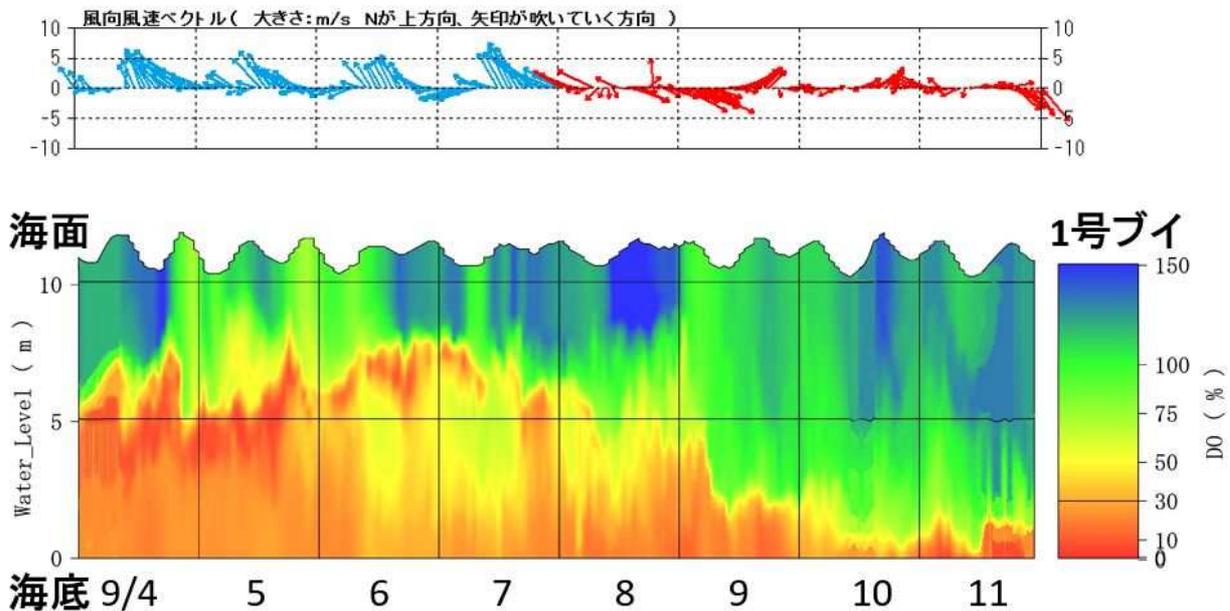


図2 風向風速の経時変化（上図）及び溶存酸素飽和度（DO）の経時変化（下図）  
（三河湾海況自動観測ブイ1号ブイ）

## 参 考

前回調査時の底層の溶存酸素状況 (図3)

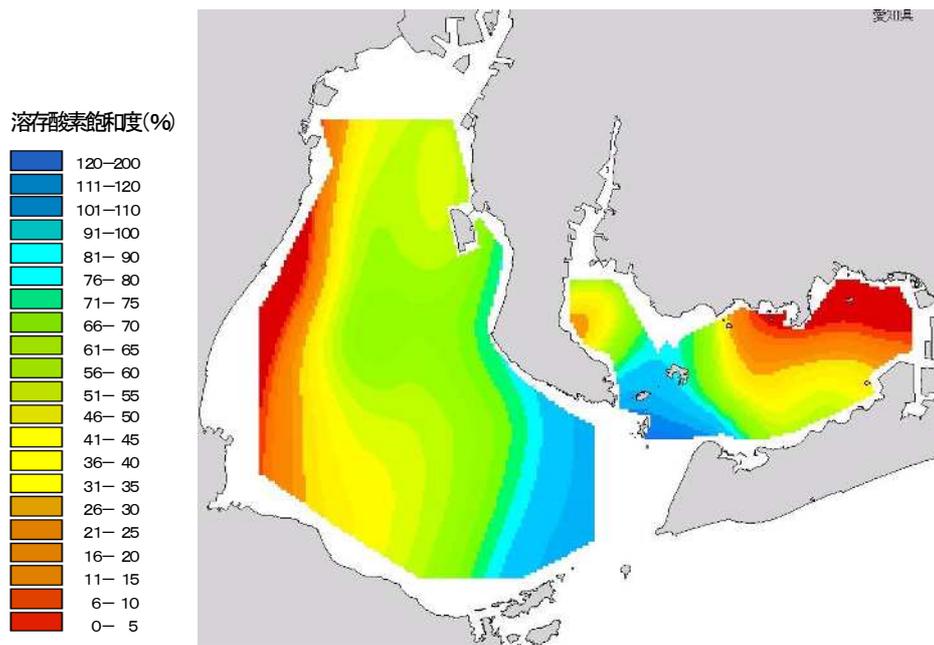


図3 令和元年9月4日 (伊勢湾)、9月2、3日 (三河湾)